



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月6日

上場会社名 (株)東京放送ホールディングス
 コード番号 9401 URL <http://www.tbsholdings.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石原 俊爾
 問合せ先責任者 (役職名) 経理局経理部長 (氏名) 伊藤 博信
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3746-1111

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	264,305	△0.4	12,639	△2.5	14,560	0.4	7,959	152.7
25年3月期第3四半期	265,366	2.2	12,966	29.5	14,506	18.9	3,149	△73.8

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 32,578百万円 (600.8%) 25年3月期第3四半期 4,648百万円 (△66.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	50.99	—
25年3月期第3四半期	20.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	589,248	384,799	62.6
25年3月期	559,626	344,473	58.7

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 368,986百万円 25年3月期 328,465百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7.00	—	11.00	18.00
26年3月期	—	8.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	351,500	△0.2	14,500	△10.4	16,000	△9.5	8,100	△11.7	51.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	190,434,968 株	25年3月期	190,434,968 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	28,491,324 株	25年3月期	38,226,794 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	156,104,627 株	25年3月期3Q	152,209,054 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	9
(株)TBSテレビ第3四半期事業収入の内訳	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

日本銀行の「金融経済月報」によりますと、わが国の景気は、設備投資が持ち直しているほか、個人消費も、雇用・所得環境が改善するなかで、引き続き底堅く推移するなど、緩やかに回復しております。先行きにつきましても、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要とその反動の影響を受けつつも、基調的には緩やかな回復を続けていくとみられます。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,643億5百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益126億3千9百万円（同2.5%減）、経常利益145億6千万円（同0.4%増）、四半期純利益は、投資有価証券評価損が前年同期に比べ大幅に減少したこと等もあり79億5千9百万円（同152.7%増）となりました。

<放送事業セグメント>

放送事業セグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は1,583億5千4百万円（前年同期比0.6%減）、営業利益は36億5千2百万円（同16.6%増）となりました。

放送事業の主力である株式会社TBSテレビは、ネットタイムセールスでは、大型の単発番組が減少したほか、視聴率も伸び悩んだ影響もあり、前年実績に及びませんでした。一方、スポットセールスでは、企業の業況感の改善を受け、自動車や情報・通信、金融、不動産・建設などの業種で前年実績を上回りました。TBSテレビは、タイム収入は減収、スポット収入は増収で第3四半期連結累計期間を終えました。

株式会社BS-TBSは、タイムセールスにおけるレギュラー スポンサーの動向が堅調であったことに加え、スポットセールスおよびショッピング事業も好調で、順調に売上を伸ばしました。売上は堅調でしたが、7月に放送設備を更新したことに伴い減価償却費が増加したため、営業利益段階では減益となりました。

株式会社TBSラジオ&コミュニケーションズは、12月のビデオリサーチ首都圏聴取率調査においてトップを記録し、12年6ヶ月、75期連続で首都圏ラジオ首位の座を守り続けております。タイムセールス、スポットセールスは、前年実績に届かなかったものの、渋谷にオープンしたハウジング事業など放送外の収益が業績の底上げに貢献し、増収増益となりました。

<映像・文化事業セグメント>

映像・文化事業セグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は946億1千7百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益39億8千7百万円（同8.9%減）となりました。

映画事業は、「SPEC～結（クローズ）～」の前編「漸ノ篇」（11月1日公開）、後編「交ノ篇」（同29日公開）がいずれも好調に推移しております。また、映画公開に先立ち、特別番組「SPEC～零～」を地上波にて放送してDVD/BDを発売、また、CS「TBSチャンネル1」ではドラマSPECシリーズを放送するなど、多面的な展開を試みました。

ペイテレビ事業は、競争激化の環境の中、韓流コンテンツ、TBSドラマ「とんび」「SPEC」シリーズなど強力なラインナップで新規契約世帯獲得と顧客維持に努めました。また、オンデマンド事業では、見逃しサービスに加え、アーカイブ番組の配信も強化し、タイトル・エピソード数とも国内最大級のサービスを提供しました。

DVD事業では、大ヒットドラマ「半沢直樹」のDVD/BDを12月末に発売、記録的な売上を達成し、レンタルの初動としては過去最高となりました。ライセンス事業でも、「半沢直樹／倍返し饅頭」はTBSストア（東京・赤坂）では、開店前から行列ができ、完売が連日続きました。

<不動産事業セグメント>

不動産事業セグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は113億3千3百万円（前年同期比2.9%減）、営業利益50億2百万円（同8.5%減）となりました。

平成20年2月に開業した赤坂サカスですが、各種の興行や「Sacas広場」で開催される様々なイベントを通じて文化・エンタテインメントの発信地としての人気を確立しております。今後もTBSグループや番組をより身近に感じていただくための体験イベントの開催などに加えて、赤坂の街と連動した地域密着イベントにも力を注いでまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は5,892億4千8百万円で、前連結会計年度末に比べ296億2千2百万円の増加となりました。現金及び預金、有価証券を合わせた手許資金が62億2千4百万円減少、有形固定資産が減価償却等により41億9千4百万円減少した一方、保有する株式の含み益の増加等により投資有価証券が344億9千6百万円増加、前払費用が40億6千万円増加、子会社株式の追加取得等によりのれんが12億6千8百万円増加したこと等によります。

(負債)

負債合計は2,044億4千9百万円で、前連結会計年度末に比べ107億3百万円の減少となりました。保有する株式の時価の上昇に伴い繰延税金負債が129億5千万円増加した一方、長期・短期合わせた借入金が返済により174億円減少、未払金が24億4千2百万円減少したこと等によります。

(純資産)

純資産合計は3,847億9千9百万円で、前連結会計年度末に比べ403億2千5百万円の増加となりました。自己株式の処分等により自己株式が126億5千1百万円減少したことに加え、その他有価証券評価差額金が228億8千万円増加したこと等によります。

この結果、自己資本比率は62.6%、1株当たりの純資産は2,278円49銭となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績見通しにつきましては、主力であるテレビのタイム収入、スポット収入が第2四半期決算発表時の想定をやや下回る水準で推移する見通しとなっております。引き続き、グループをあげてコストコントロールに努めますが、通期の売上高、営業利益、経常利益につきましては、前回予想を下回る見通しです。当期純利益につきましては、第3四半期決算にて、新たな特別利益の計上があったこと等から前回予想と同額を予想しております。

こうした状況を勘案し、平成25年11月5日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたします。

また、配当予想につきましては、平成25年5月10日に公表した予想に変更はございません。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
平成25年11月5日発表(A)	352,300	16,500	17,400	8,100	51	41
平成26年2月6日発表(B)	351,500	14,500	16,000	8,100	51	41
増減額(B-A)	△800	△2,000	△1,400	—	—	—
増減率	△0.2%	△12.1%	△8.0%	—	—	—
前期実績	352,351	16,188	17,671	9,173	60	27

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	68,243	17,019
受取手形及び売掛金	37,568	37,680
有価証券	—	44,999
商品及び製品	7,174	7,923
番組及び仕掛品	8,149	9,037
原材料及び貯蔵品	581	641
前払費用	6,477	10,537
繰延税金資産	5,044	3,231
その他	6,030	6,220
貸倒引当金	△139	△153
流動資産合計	139,130	137,137
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	192,312	194,951
減価償却累計額	△85,098	△89,145
建物及び構築物（純額）	107,213	105,806
機械装置及び運搬具	83,518	85,574
減価償却累計額	△74,992	△75,328
機械装置及び運搬具（純額）	8,526	10,245
工具、器具及び備品	24,116	25,885
減価償却累計額	△21,965	△22,990
工具、器具及び備品（純額）	2,150	2,895
土地	84,554	84,168
リース資産	6,625	6,373
減価償却累計額	△3,787	△3,860
リース資産（純額）	2,837	2,512
建設仮勘定	6,748	2,206
有形固定資産合計	212,030	207,835
無形固定資産		
ソフトウェア	4,768	4,616
のれん	22,360	23,629
リース資産	347	268
その他	1,702	1,682
無形固定資産合計	29,178	30,196
投資その他の資産		
投資有価証券	164,463	198,959
長期貸付金	283	258
繰延税金資産	1,706	1,394
長期前払費用	949	798
その他	12,613	13,391
貸倒引当金	△728	△724
投資その他の資産合計	179,286	214,079
固定資産合計	420,496	452,111
資産合計	559,626	589,248

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,814	37,150
1年内返済予定の長期借入金	31,200	14,400
未払金	11,431	8,989
未払法人税等	3,982	1,931
未払消費税等	684	487
未払費用	5,761	3,550
役員賞与引当金	191	120
送信所移転対策引当金	1,080	255
その他の引当金	1,134	658
その他	5,809	5,971
流動負債合計	96,090	73,515
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	26,000	25,400
退職給付引当金	13,431	14,121
リース債務	1,590	1,259
繰延税金負債	12,681	25,631
その他	15,358	14,521
固定負債合計	119,062	130,934
負債合計	215,152	204,449
純資産の部		
株主資本		
資本金	54,986	54,986
資本剰余金	60,254	59,512
利益剰余金	228,882	233,863
自己株式	△48,973	△36,321
株主資本合計	295,150	312,040
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,468	56,348
繰延ヘッジ損益	△46	621
為替換算調整勘定	△106	△24
その他の包括利益累計額合計	33,314	56,945
少数株主持分	16,008	15,812
純資産合計	344,473	384,799
負債純資産合計	559,626	589,248

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	265,366	264,305
売上原価	185,297	182,906
売上総利益	80,069	81,398
販売費及び一般管理費	67,103	68,758
営業利益	12,966	12,639
営業外収益		
受取利息	54	42
受取配当金	2,555	2,671
持分法による投資利益	26	162
その他	549	507
営業外収益合計	3,186	3,384
営業外費用		
支払利息	996	847
固定資産除却損	71	156
その他	578	459
営業外費用合計	1,646	1,464
経常利益	14,506	14,560
特別利益		
投資有価証券売却益	1	1,026
退職給付制度改定益	—	562
固定資産売却益	—	60
関係会社株式売却益	—	6
負ののれん発生益	126	—
特別利益合計	127	1,656
特別損失		
送信所移転対策損失	—	1,100
早期割増退職金	—	208
減損損失	534	125
投資有価証券評価損	5,626	63
事務所移転費用	366	—
退職給付制度改定損	67	—
特別損失合計	6,594	1,497
税金等調整前四半期純利益	8,039	14,719
法人税、住民税及び事業税	2,442	3,710
法人税等調整額	1,283	2,080
法人税等合計	3,725	5,790
少数株主損益調整前四半期純利益	4,313	8,928
少数株主利益	1,163	969
四半期純利益	3,149	7,959

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,313	8,928
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△54	22,882
繰延ヘッジ損益	369	673
為替換算調整勘定	20	94
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	335	23,649
四半期包括利益	4,648	32,578
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,521	31,590
少数株主に係る四半期包括利益	1,127	988

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年8月29日開催の取締役会決議に基づき、㈱エヌ・ティ・ティ・ドコモ、三井物産㈱、㈱毎日放送及び㈱WOWOWとの間で、各社との業務上の関係強化のための資本業務提携契約を締結するとともに、平成25年9月13日付で、各社を割当先とする第三者割当による自己株式9,772,200株の処分を実施しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において、単元未満株式の買取等による増加と合わせ、自己株式が126億5千1百万円、9,735,470株減少しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注2)
	放送	映像・文化	不動産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	159,254	94,438	11,672	265,366	—	265,366
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,225	3,199	5,012	9,437	△9,437	—
計	160,480	97,638	16,685	274,804	△9,437	265,366
セグメント利益	3,130	4,375	5,466	12,972	△6	12,966

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注2)
	放送	映像・文化	不動産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	158,354	94,617	11,333	264,305	—	264,305
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,290	2,949	4,186	8,425	△8,425	—
計	159,644	97,566	15,520	272,731	△8,425	264,305
セグメント利益	3,652	3,987	5,002	12,642	△2	12,639

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

㈱TBSテレビ第3四半期事業収入の内訳

(単位：百万円)

	前第3四半期 (24. 4. 1～24. 12. 31)	当第3四半期 (25. 4. 1～25. 12. 31)	増 減		前事業年度 (24. 4. 1～25. 3. 31)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
テレビ	138,674	137,541	△1,132	△0.8%	184,247
タイム・番組制作	66,814	64,368	△2,446	△3.7%	88,595
スポット	62,899	64,163	1,263	2.0%	83,655
その他	8,959	9,010	50	0.6%	11,995
事業	20,230	21,858	1,627	8.0%	26,036
不動産	2,168	2,202	34	1.6%	2,887
合計	161,073	161,603	530	0.3%	213,172